

# 令和元（2019）年度 事業報告

当財団は、平成26年4月の公益財団法人移行後、戦後70年目の平成27年4月に常設展示の抜本的なリニューアルを行い、今年度末には、来館者が約223万人、リニューアル後の来館者が約35万人となった。

アンケートによると新たな展示には多くの方が好感を示しており、館の認知度を一層高めるとともに、常設展示を核とした事業活動の実施に努めた。

また、今年度は、「中期経営計画」の最終年度にあたり、「戦争の悲惨さ・平和の尊さを次の世代に伝える」という法人のミッションを再確認し、新たな中期経営計画の策定に取り組むとともに、限られた人的・物的資源のもと、最重要目標である入館者数をはじめとする数値目標の達成に向け、各種事業の展開や来館者へのサービス向上に最善を尽くした。

併せて、自主財源の確保に努めながら、これまでに蓄積してきた所蔵資料の活用や関係機関などとの協力・連携を深め、創意工夫により魅力ある特別展や企画事業等を実施した。

このような取組により、入館者数については12月末時点の累計がリニューアル後の4年間で最多となったが、1月後半からは新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外国人入館者数の激減や学校関係のキャンセルが相次ぎ、2月末には臨時休館することとなり、3月の平和祈念事業など多くの事業の中止を余儀なくされた。その結果、今年度の入館者総数は、12月時点の想定よりも5千人を超える減少となり、65,980人（うち小中学生は39,818人、外国人は4,551人）にとどまった。

## 1. 展示事業

### (1) 常設展示

#### 2階展示室

Aゾーン：昭和20年、大阪は焼き尽くされた

Bゾーン：世界中が戦争をしていた時代

Cゾーン：戦時下の大阪の暮らし

#### スロープ

空襲体験者の「証言と体験画の回廊」

#### 1階展示室

Dゾーン：多くの犠牲を出し、焼け野原になった大阪

#### 3階展示室

Eゾーン：たくましく生きる大阪

Fゾーン：私たちの未来をつくっていくために

#### 映像コーナー

#### 図書室

#### 映画の定時上映（講堂）

## (2) 特別展示

所蔵資料の活用や関係機関・団体の協力を得ながら実施した。

### ①「カティンの森事件 ―22,000人のポーランド人将校の行方―」

＜趣 旨＞ ポーランドをテーマに、その歴史上で起きたカティンの森事件を取り上げ、戦争の悲惨さを考える機会とした。

（日本・ポーランド国交樹立 100 周年（1919～2019）記念事業）

＜期 間＞ 3月1日（金）～5月12日（日）

＜内 容＞ 写真解説パネル、文献展示

＜参加者＞ 9,651名

### ②「ピースおおさか収蔵品展 2019 ～戦中・戦後“モノ”語り～」

＜趣 旨＞ 2018年度に寄贈された資料の一部を紹介した。これらを多くの方にご覧いただき、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会とした。

＜期 間＞ 6月1日（土）～7月28日（日）

＜内 容＞ 収蔵品 約80点

＜参加者＞ 13,248名

### ③「第二次世界大戦博物館展 POLAND FIRST TO FIGHT」

＜趣 旨＞ 第二次世界大戦の勃発から80年。ポーランド・グダンスク市にある「第二次世界大戦博物館」が世界60ヶ所で行うパネル展を開催した。

＜期 間＞ 9月1日（日）～12月21日（日）

＜内 容＞ 写真解説パネル展示

＜参加者＞ 30,512名

### ④「SDGs（持続可能な開発目標）とユニセフ」

＜趣 旨＞ 大阪ユニセフ協会の協力のもと、「SDGs（持続可能な開発目標）とユニセフ」をテーマにした写真展を開催し、取り組み等を紹介した。

＜期 間＞ 1月11日（土）～2月11日（火）

＜内 容＞ 写真解説パネル展示

＜参加者＞ 4,980名

### ⑤「大空襲75年特別企画『大阪空襲体験画展』～未来に伝えたい人びとの記憶～」

※新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、2月29日より臨時休館したため、開催延期となった。

## (3) その他の展示

いのちへのメッセージ、学校から寄贈された千羽鶴

## (4) ワークショップスペース(3階)の有効活用

学校と連携した平和学習に関する資料の展示など有効活用を図った。

## 2. 企画事業

アンケート結果も踏まえつつ、当館の発信力を強化し、事業の展開に努めた。

### (1) 平和祈念事業

終戦、開戦、大阪大空襲など節目の時期に、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会として、集客力のある多様なイベントを開催した。

### ① 終戦の日平和祈念事業

<実施日> 8月4日(日) 午後2時～午後3時30分

戦争体験講話「“いま”伝えたい ～95歳、絵筆で戦争と平和を語り継ぐ～」

#### ・内 容

戦前・戦中・戦後を生きる戦争体験者から、当時のくらしや空襲などについての話を聞いた。

体験者：東村禎三

聞き手：小田康徳（大阪電気通信大学名誉教授）

#### ・参加者：76名

<実施日> 8月15日(木) 午後2時～午後3時30分

「戦争犠牲者追悼式と平和コンサート」 ※台風接近に伴い、中止。

### ② 開館の日平和祈念事業

日本・ポーランド国交樹立100周年（1919～2019年）記念事業

<実施日> 9月15日(日) 午後2時～午後3時30分

第二次世界大戦博物館展特別講演会「第二次世界大戦とポーランド」

#### ・講演者：伊東孝之（北海道大学名誉教授、早稲田大学名誉教授）

#### ・参加者：244名

### ③ 開戦の日平和祈念事業

<実施日> 12月8日(日) 午後2時～午後3時45分

「落語と平和 ～ピースおおさか平和寄席～」

#### ・出演者：桂春団治、桂梅団治、桂咲之輔、桂小梅

#### ・参加者：225名

### ④ 大阪大空襲平和祈念事業

<実施日> 3月15日(日) 午後2時～午後3時30分

大空襲75年特別企画講演会「崑ちゃんの戦争体験」

※新型コロナウイルス感染症流行に伴い、2月29日より臨時休館したため、中止。

### (2) 戦跡ウォーク

#### ・日 時：毎月第2日曜日（8、9、10、12、3月除く）

#### ・内 容：館内見学、大阪城周辺の戦跡を巡る（中回り・東回り・西回りコース）

#### ・参加者：113名

### (3) ウィークエンド・シネマ

#### ・日 時：毎週土曜日 午後2時～（3月除く）

#### ・内 容：所蔵視聴覚資料（ビデオ・DVD・16ミリ）を上映

#### ・参加者：3,748名

### (4) ウィークエンド・シネマ3月 ～大空襲75年特別企画～

※新型コロナウイルス感染症流行に伴い、2月29日より臨時休館したため、中止。

### (5) 親子まつり

ゴールデンウィーク、夏休み、冬休み、春休み期間にアニメ映画を上映した。

① ゴールデンウィーク

- ・日 時：4月28日（日）～5月5日（日） 午後2時～
- ・内 容：「そう列車がやってきた」の上映
- ・参加者：115名

② 夏休み

- ・日 時：7月21日（日）～8月25日（日） 午後2時～
- ・内 容：アニメ「ひめゆり」等の上映
- ・参加者：348名

③ 春休み

※新型コロナウイルス感染症流行に伴い、2月29日より臨時休館したため、中止。

(6) 平和紙芝居

- ・日 時：4月～2月（3月は臨時休館）  
第1・2木曜日 午前10時～午前10時20分  
第3・4金曜日 午前10時～午前10時20分
- ・参加者：1,697名

(7) 府政学習会（大阪府府政情報室との連携事業）

① 随時型府政学習会（今年度は参加団体なし）

② 公募型府政学習会

- ・日 時：6月15日（土）
- ・内 容：テーマ学習および館内見学
- ・参加者：82名

(8) 生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪 2019

（大阪市都市整備局企画部住宅政策課事業への協力）

- ・日 時：10月26日（土）～27日（日） 午前10時～、午後2時～
- ・内 容：ガイドツアー（館内および屋上見学）
- ・参加者：32名

### 3. 館外利用事業

当館のアウトリーチ活動として、館外利用の促進に取り組んだ。

(1) 出前展示

パネル・実物資料の展示、ピースおおさか紹介ビデオの放映、パンフレットの配布等を実施し、将来の来館につながるよう、展示内容の工夫や実施場所の開拓等に努めた。

① 大阪市立平野図書館

- ・日 時：4月2日（火）～4月26日（金）
- ・場 所：大阪市立平野図書館
- ・内 容：パネル・実物資料展示、パンフレットの配布
- ・参加者：14,442名

- ② **イオンモール大阪ドームシティ**
- ・日 時：6月1日（土）～6月9日（日）
  - ・場 所：イオンモール大阪ドームシティ
  - ・内 容：パネル・実物資料展示、パンフレットの配布等
  - ・参加者：184,000名
- ③ **大阪市立天王寺図書館**
- ・日 時：6月5日（水）～6月30日（日）
  - ・場 所：大阪市立天王寺図書館
  - ・内 容：パネル・実物資料展示、パンフレットの配布
  - ・参加者：17,520名
- ④ **大阪市立島之内図書館**
- ・日 時：6月21日（金）～7月17日（水）
  - ・場 所：大阪市立平野図書館
  - ・内 容：パネル・実物資料展示、パンフレットの配布
  - ・参加者：11,348名
- ⑤ **戦後74年大阪戦没者追悼式**
- ・日 時：8月2日（金）
  - ・場 所：大阪国際交流センター
  - ・内 容：パネル展示、パンフレットの配布
  - ・参加者：680名
- ⑥ **大阪市立阿倍野市民学習センター**
- ・日 時：8月3日（土）～8月21日（水）
  - ・場 所：大阪市立阿倍野市民学習センター
  - ・内 容：パネル・実物資料展示、パンフレットの配布等
  - ・参加者：31,348名
- ⑦ **大阪市立都島図書館**
- ・日 時：10月1日（火）～10月31日（木）
  - ・場 所：大阪市立都島図書館
  - ・内 容：実物資料展示、パンフレットの配布
  - ・参加者：10,409名
- ⑧ **中央区民まつり**
- ・日 時：10月20日（日）
  - ・場 所：なにわの宮跡
  - ・内 容：パネル展示、パンフレットの配布
  - ・参加者：49,000名
- ⑨ **大阪府立泉南府民センター**
- ・日 時：11月1日（金）～11月6日（水）
  - ・場 所：大阪府立泉南府民センター
  - ・内 容：パネル展示、パンフレットの配布
  - ・参加者：来場多数

⑩ 大阪市立東成図書館

- ・日 時：11月22日（金）～12月18日（水）
- ・場 所：大阪市立東成図書館
- ・内 容：実物資料展示、パンフレットの配布
- ・参加者：12,934名

⑪ 大阪府立中央図書館

- ・日 時：12月4日（水）～12月15日（日）
- ・場 所：大阪府立中央図書館
- ・内 容：パネル・実物資料展示、パンフレットの配布
- ・参加者：18,764名

⑫ 大阪市立中央図書館

- ・日 時：1月17日（金）～2月5日（水）
- ・場 所：大阪市立中央図書館
- ・内 容：パネル・空襲体験画・実物資料展示、パンフレットの配布等
- ・参加者：81,000名

(2) 「語り部」の派遣（紹介）

学校等からの「語り部」の派遣依頼に対し、関係団体（大阪戦災傷患者・遺族の会、大阪大空襲の体験を語る会、国民学校と学童疎開を考える会）の協力を得て、「語り部」の紹介を行った。

- ・登録協力団体：3団体（大阪戦災傷患者・遺族の会、大阪大空襲の体験を語る会、国民学校と学童疎開を考える会）
- ・参加者：8,099名

(3) 平和学習資料の貸出し

学校、官公署、市民団体等の要請に応じ、平和学習用資料(写真パネル、空襲体験画、ビデオ、DVD、16ミリフィルム等)の貸し出しを行った。

資料の充実に努めるとともに、特に遠方の学校等については、来館に代わる平和啓発活動の一環として広報に努めた。

	小学校	中学校	高 校	自治体	その他	計
写真パネル(体験画含む)	24	5	1	32	13	75
実 物 資 料	8	1	0	1	3	13
16ミリ (アニメ)	0	0	0	0	2	2
16ミリ (ドキュメント)	0	0	0	1	3	4
ビ デ オ	6	6	5	3	8	28
D V D	107	75	6	29	58	275
紙 芝 居	4	0	0	1	2	7
合 計	149	87	12	67	89	404

- ・利用人数：110,812名（申込み件数 363件）

## 4. その他の事業

### (1) 「大阪市児童絵画・版画作品展」

(大阪市小学校教育研究会図画工作部主催、(株)サクラクレパス協力)

- ・日 時：8月2日(金)～14日(水)
- ・内 容：289校が各2枚ずつ児童絵画・版画の作品を特別展示室に展示
- ・参加者：展示作品の児童父兄等約1,000名

### (2) 「北朝鮮人権侵害問題啓発」

(政府拉致問題対策本部・大阪府・大阪市・府内全市町村主催)

- ・日 時：1月26日(日) 午後1時30分～3時
- ・内 容：パネル展示、映画上映等  
政府の取り組み報告  
アニメ「めぐみ」、「拉致被害者御家族ビデオメッセージ」上映  
パネル展示
- ・参加者：85名

### (3) 講堂・会議室の有効活用

今年度から、府内の自治体(教育委員会含む)や公共的団体等が講堂や会議室にて平和・人権に関する研修会等を行う場合に、各団体の申請により施設の使用を許可し、あわせて使用料等を免除することとして施設の有効活用を図った。

- ・使用許可件数：18件

## 5. 「刻の庭」の管理運営

大阪空襲死没者の追悼及び恒久平和を祈念するため、2005(平成17)年度に整備した「刻の庭」の管理運営を行った。

大阪空襲死没者名簿の管理(人数の精査を含む)、新規登載申出の受付等を行った。

空襲死没者名簿(原簿)の管理

- ・追加登載者数：12名
- ・名簿の訂正：1名
- ・登載者数計：9,117名(令和2年3月31日現在)  
(内訳)公開9,069名(刻の庭前で公開)、非公開48名

## 6. 資料の収集・提供

実物資料、視聴覚資料、図書資料の適切な収集と管理に努め、展示及び貸出資料への利活用を図るとともに「収蔵品管理システム」により資料の整理、保存、公開を行った。

資料収集件数

単位：点

	寄贈資料	購入資料	製作資料
実物資料	106	0	0
視聴覚資料	22	7	1
文書資料	31	0	0
図書資料	130	1	0
計	289	8	1

2020（令和2）年3月末の資料収集件数（収蔵検索システム登録件数）

・物品：10,497点

（実物 4,437点、文書 1,891点、視聴覚 4,004点、その他 165点）

・図書：34,212点

合計：44,709点

## 7. 広報・啓発

### (1) ホームページの運営

ホームページにより施設利用案内や事業広報等の情報提供を行うとともに、ホームページの更なる充実について検討を行った。

アクセス数：96,926回（うち、日本は91,674回）

### (2) 印刷物の作成・配布

リーフレット「展示のしおり」の配布に加え、各種企画事業のチラシやポスターを適宜作成、配布するとともに、館報「ピースおおさか」を発行した。

### (3) 学校等に対する多様な媒体を活用した広報

関係組織等へのダイレクトメールの送付、個別の訪問などに取り組んだ。

府市、中核市の教育委員会等（小中学校校長会、人権担当者会議を含む）に対して、校外学習での当館への来館や貸出資料の利用を促した。

講堂や会議室を活用した小中学校教職員の各種研修の誘致にも取り組んだ。

## 8. 来館者サービスの向上

新たな魅力あるミュージアムグッズの制作について検討を行った。

アンケート結果も踏まえて、サインの充実など来館者のサービス向上に取り組んだ。

その際、英語表記をするなど海外からの観光客への対応について留意した。

なお、今年度の入館者総合満足度は、95%であった。

## 9. 自主財源（平和寄金）の確保

あらゆる機会等を通じて、平和寄金の趣旨（企画事業・特別展示等の原資）と寄附に係る税の優遇措置を説明し協力を求めた。なお、今年度の平和寄金収入は、1,058,917円であった。

「ピースおおさか友の会」会員の新規拡大に努めた。

<「ピースおおさか友の会」入会状況>

・個人会員：67名

・団体会員：7団体

## 10. 効率・効果的な事業の実施

企画事業の充実を図り、収蔵品など既存ストックの有効活用に努めつつ、効率・効果的な事業実施等を行った。

運営コストの抑制に努めるため、電気供給契約等の相見積もりによる見直し、配布チラシの種類や配布先の検証などを行うとともに、パソコンの更新などにより業務の効率化を図った。



府市と入館者増に向けた取組み状況・課題を整理するため、適宜、「集客等ワーキング」などを開催した。なお、今年度については、新たな中期経営計画の策定に取り組んだ。

## 11. 施設の保全・補修

ピースおおさかの長寿命化及び安全性・快適性の確保を図るため、平成 28 年度に作成した「施設修繕計画」（平成 29 年度から 10 年間）に基づき、補修工事を計画的に実施するとともに、必要な予算措置を府市に要請した。

〈主な実施内容〉 1 階トイレ更新、冷温水配管等更新、汚水会所修繕等